

JMP ライセンス更新手順（期限前の更新手順）Windows 版

JMP のライセンス更新期限の満了前に更新する場合は次の手順で実施して下さい。

【1. ライセンスファイルのダウンロードと展開】

1.1 ライセンスファイルのダウンロード

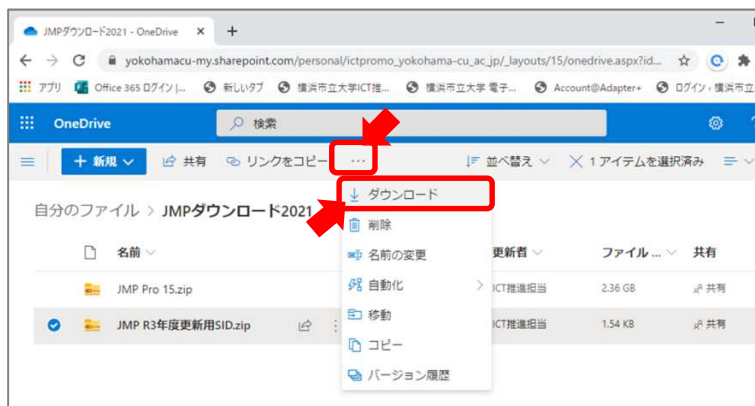
JMP の利用申請後の届くメールに記載されたダウンロードサイトの URL にアクセスします。

ライセンスファイル(「更新用 SID」)のファイル名がついています)を選択します。

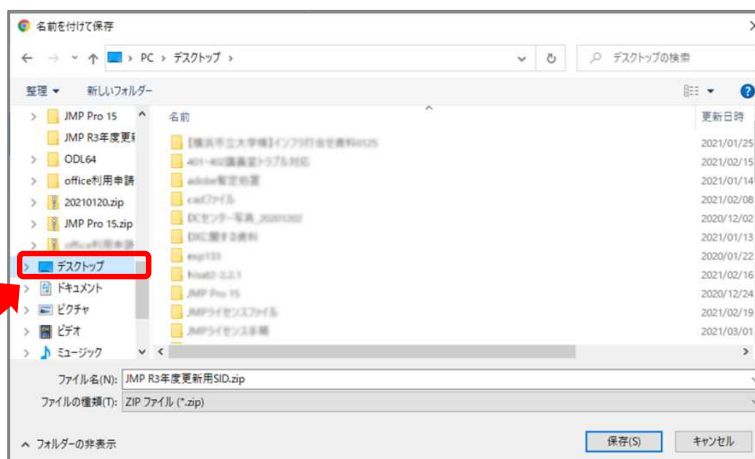


1.2 画面のメニューから「ダウンロード」をクリックします。

ダウンロードメニューが表示されていない場合には「…」をクリックすると、表示されていないメニューが表示されますので、「ダウンロード」を選択します。(右図)



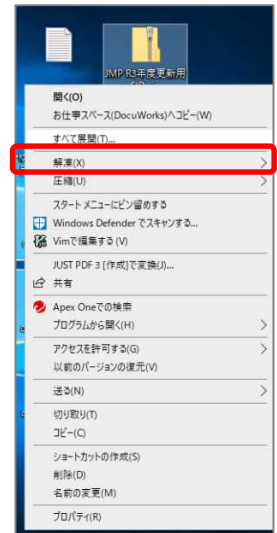
1.3 「名前を付けて保存」画面が表示され、ダウンロードファイルの保存場所を指定できます。「デスクトップ」を指定します。



1.4 デスクトップにダウンロードしたファイルが現れます。

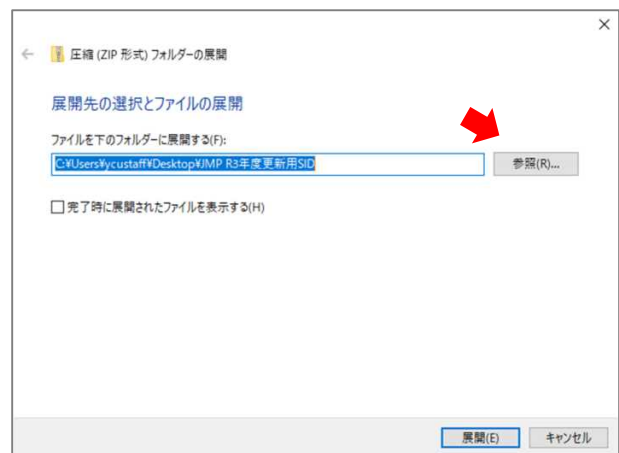


1.5 ダウンロードしたファイルは Zip 形式で圧縮されていますので、これを展開します。
ファイルをマウスで選択し、右ボタンをクリックすると右図のようなメニューが表示されます。メニューの内容は PC にインストールされているソフトウェア等により異なります。

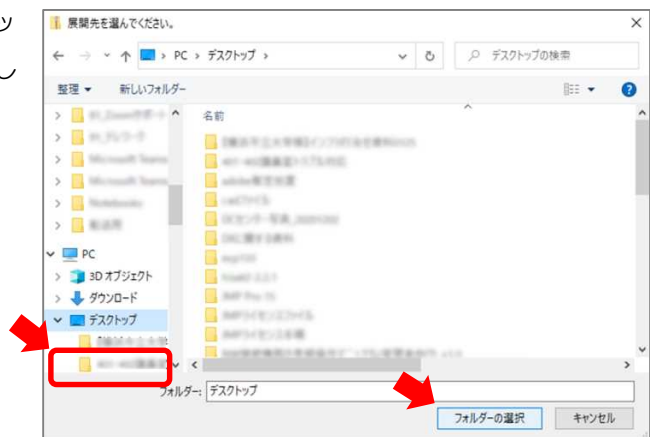


メニューから「すべて展開」を選択します。

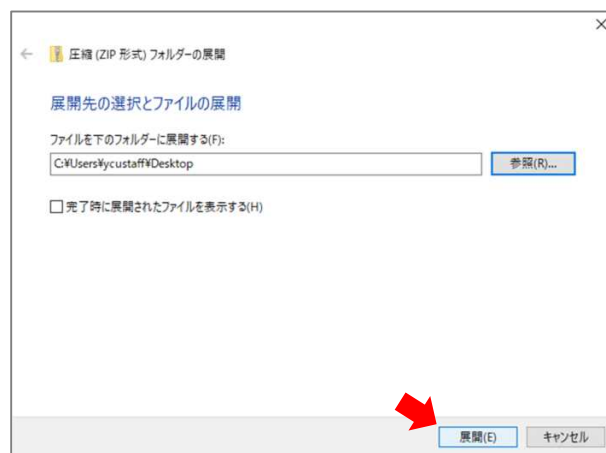
1.6 どこに展開するかを指定する画面が表示されますので、参照ボタンをクリックします。



1.7 保存先を選ぶ画面が表示されますので、「デスクトップ」を指定し、「フォルダの選択」ボタンをクリックします。



1.8 「圧縮(ZIP形式)フォルダーの展開」画面に戻るので、「展開」ボタンをクリックします。

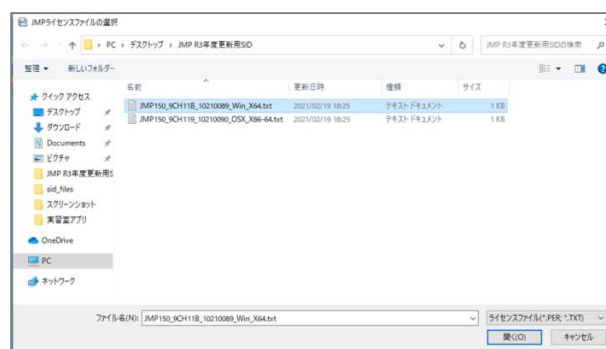


1.9 デスクトップに展開されたフォルダーが現れます。



1.10 フォルダーを開くと2つのファイルが入っていることを確認します。

ファイル名に Win の文字列がある方が Windows 版用ライセンスファイル、OSX の文字列がある方が Mac 版のライセンスファイルです。

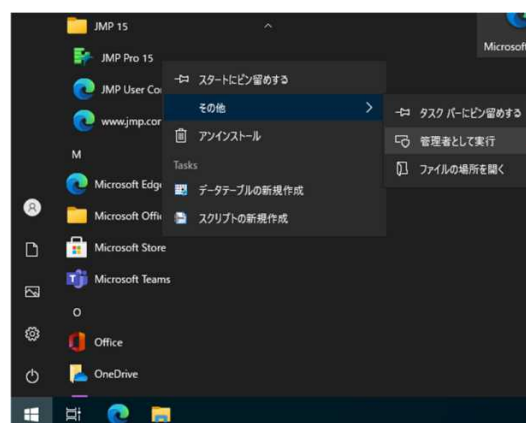


【2. ライセンス設定】

2.1 JMP を「管理者として実行」で起動します。

「管理者として実行」はスタートメニューから JMP を右ボタンで選択し、メニューから「その他」を選ぶと選択できます。

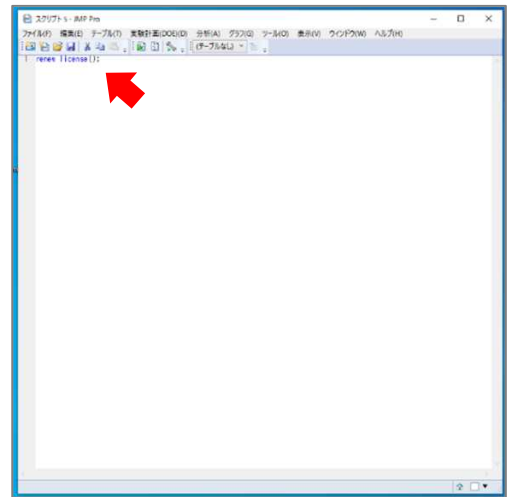
「このアプリがデバイスに変更を加えることを許可しますか？」の表示が出た場合は、「はい」を選択します。



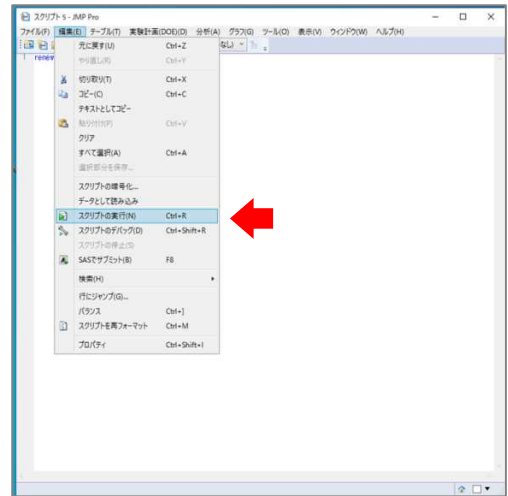
2.2 JMP が起動したら、ファイルメニューから

「新規作成」→ 「スクリプト」を実行し、スクリプト画面を開きます。

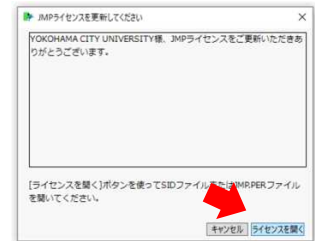
スクリプト画面に、「renew license();」と入力します。



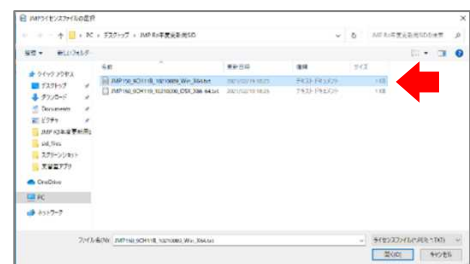
2.2 編集メニューから「スクリプトの実行」を選択し、実行します。



2.3 「JMP ライセンスを更新してください」の画面が開きますので、画面内の「ライセンスを開く」ボタンをクリックします。(右図)



2.4 「JMP ライセンスファイルの選択」の画面が開きますので、1.10で確認したファイルを選択し、「開く」ボタンをクリックします。



！ここで右図のようなエラーが発生した場合

JMPを「管理者として実行」がされていないので、JMPを一旦終了した後、2.1からやり直してください。



2.5 「JMP ライセンスのパーソナライズ」画面が開きます。管理者名と部門が入力できるようになっていますが、ここは空白で結構です。「OK」ボタンをクリックします。



2.6 「ライセンスが適用されました」の画面が表示されれば完了です。

スクリプト画面は閉じてください。(スクリプトは保存しなくて結構です)

※ここで「ライセンスに名前を付けて保存」画面が表示されたときは、2.1 で「管理者として実行」がされていないためと考えられます。キャンセルして、2.1 からやり直してください。



2.7 ライセンスが更新されていることを確認します。

JMP のホームウィンドウで「ヘルプ」→ 「バージョン情報」を選択します。バージョン情報画面が表示されますので、期限終了日を見て、翌年度の 3/31 まで期限が延長されていることを確認します。

